

事業評価調書

基本情報

年度	令和 4年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38134
事業名	男女が共に活躍できる職場づくり応援費					
評価担当課	所属名	市)市民生活部 男女共同参画課			電話番号	211-2962
	課長名	後藤 美香	担当者名	本條 琢也		
施策名	主	-				
	副	-				
アクションプラン	対象	<input type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	対象	<input type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
目的	短期	ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進に向けて、市民や企業等の幅広い対象に働きかけ、働き方改革等に取り組む機運を醸成する。				
	長期	ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む企業が増えることで、市民にとって働きやすい環境が拡大し、性別役割分担意識が解消され、性別を問わず安心して働くことができるまちななることを目指す。				
事業内容	取組内容	<p>ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む企業の増加や働きやすい職場環境の整備を目指し、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証制度」を運用（制度広報・企業訪問による周知・企業取組支援としてのアドバイザー派遣）するほか、男女がともに暮らし働きやすい社会を目指し、市民・企業向けのフォーラムの実施や、冊子や動画を活用した普及啓発を行う。</p> <p>庁内関係部局との連携については以下のとおり。</p> <p><経済観光局>エルプラザ4階には、女性向けの起業初期段階の支援等を行うコワーキングスペース「リラコフ」（令和5年度から男女共同参画センターの指定管理業務として運営）と女性向け就労支援窓口「ここシェルジュSAPPORO」（経済観光局が運営）があるため、日常的に協力しているほか、当課で作成した家事・育児シェア啓発冊子「スマイルシェアリングブック」が活用配布され、双方の施設の利用を促進する共催起業セミナーを年3回開催している。また、ここシェルジュSAPPOROの職場体験先の開拓にあたり、札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業の情報が活用され、職場体験を経て認証企業への就職に至っている。</p> <p><子ども未来局>従業員300人以下の札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証制度を取得した企業を対象に、助成金の支給を行う「育児休業等取得助成事業」があり、連携して事業を行っている。また、さっぽろ子育て情報サイトで当課で作成した家事・育児シェア啓発動画を紹介してもらっている一方で、札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業情報を提供するなど協力して業務を行っている。</p>				
	実施結果	<p>令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業数 884件 アドバイザー派遣数 89件 家事・育児シェア啓発冊子「スマイルシェアリングブック」シリーズを活用した広報 家事・育児シェア啓発動画「家族はこれから、チームになる」を活用した広報 				
事業実施における工夫点	市内企業のみならず、社会保険労務士へも訪問による制度周知を行ったところ、利用拡大に繋がった。フォーラム参加者の性別が偏ることの無いよう、テーマ設定等に配慮し、幅広い市民や企業に参加を呼びかけた。また、スマイルシェアリングブックは企業向けの研修資料として活用を呼び掛けた。					
対象者	市民・企業	開始	平成30年度	終了		
関連法令・条例・要綱等	札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証要綱					
他都市の状況	政令指定都市においては、20都市中18都市が独自の企業認証や企業表彰を実施し、女性活躍推進や男女共同参画を推進している。					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度決算	令和 4年度予算	令和 4年度決算	令和 5年度予算
事業費		17,528	9,600	7,472	9,000
うち特定財源		9,912	0	0	0
人工		1.20	1.20	1.20	1.20
人件費		8,640	8,640	8,640	8,520
計(事業費+人件費)		26,168	18,240	16,112	17,520
事業費の内訳	令和 4年度決算	企業等による認証制度広報やアドバイザー派遣：3,850千円 認証制度物品および啓発費：394千円 市民・企業向けフォーラムの実施：2,621千円 市民・企業向けの啓発冊子・動画による啓発費：607千円			
	令和 5年度予算	企業等による認証制度広報やアドバイザー派遣：3,872千円 認証制度物品および啓発費：844千円 市民・企業向けフォーラムの実施：3,008千円 市民・企業向けの啓発冊子・動画による啓発費：1,276千円			

検証（振り返り）

活動指標 1	指標名	フォーラム等の男性参加率					
	令和 3年度実績	令和 4年度予定	令和 4年度実績	令和 5年度予定			
活動指標 2	指標名	認証取得企業数					
	令和 3年度実績	令和 4年度予定	令和 4年度実績	令和 5年度予定			
成果指標 1	指標名	男性は仕事、女性は家事や育児という考え方に賛成の人の割合					
	令和 3年度実績	令和 4年度目標	令和 4年度実績	令和 5年度目標			
成果指標 2	指標名	成果指標 1 の目標値は令和 8 年度に 2 0 %以下を目指す					
	令和 3年度実績	令和 4年度目標	令和 4年度実績	令和 5年度目標			
	市民意識調査						
項目	判定	理由					
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<p>新型コロナウイルスの影響で対面訪問に応じる企業は減少したが、認証企業数は R 3 : 7 6 4 社 R 4 : 8 8 4 社と増加したことから、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の後押しができたと考えられる。参加者の性別が偏らないよう注意し積極的に広報したものの、フォーラムの男性参加率の目標値は達成できなかったが、参加者からの評価は高く、市民や企業の意識醸成に役立ったと考える。啓発冊子は区役所や男女共同参画センター等での市民への配布の他、認証企業の研修資料として利用を呼びかけたことから、事業目的に沿った活用ができたものとする。</p>					
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<p>対面による企業訪問を 3 7 5 社（うち「オンライン面談」を 2 2 社）で実施。結果として認証件数増加に繋がったことから適切な事業規模と考えている。市民・企業向けに男女がともに暮らし働きやすい社会を目指して多岐にわたるテーマのフォーラムを 8 回行ったが、講師の選定や内容や規模ともに適切であったと考えている。限られた予算のなかで、啓発冊子の印刷及び増刷を行い、確実に活用される方法を工夫して配布したため、内容や規模ともに適切であったと考えている。</p>					
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<p>令和 4 年度より、顧客を抱える社会保険労務士への訪問や、既に認証を受けている企業に対してステップアップを促す企業訪問を開始。また、企業からの相談に対し社会保険労務士等が個別にアドバイスを行うアドバイザー派遣も継続して実施している。また、青年会議所と連携して制度案内を行い周知を図った。オンデマンドでの受講を可能にしたほか、講師以外にもゲストスピーカーを用意することで参加者にとって身近に話を受け止めてもらえるよう工夫した。</p>					
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	<p>男性の育児休業取得率の向上の必要性や、認証企業であることで求職者へアピールすることが期待できるため、今年度も申請件数は順調に伸びている。また、昨年度に引き続き社会保険労務士からの問い合わせや申請は続いており、企業のニーズに込えられていると考えている。フォーラム参加者を対象としたアンケート結果では 9 5 . 9 % が「大変満足した」「満足した」と回答しており、参加者のニーズには十分込えられていたものとする。</p>					
市民参加の実施	企画	実施	評価	対象外	市民参加結果への対応	回答	反映
今後の改善点	<p>今後も社会保険労務士への企業訪問を行い、複数の市内企業団体等との連携を模索しながら、「札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業認証制度」の効果的な広報に努めていく。事業目的に沿ったテーマの設定や企画を行い、積極的に市民や企業に対し参加を呼びかけていく。より多くの市民への意識啓発を目指して新たに y o u t u b e 広告を活用して動画を配信する。</p>						
前回の評価	A	○ B	○ C	○	評価省略対象事業・前年度実施なし		
今年度取り組んだ見直し内容	社会保険労務士への訪問、既に認証を受けている企業に対してステップアップを促す企業訪問を開始 講座の回数を増加 「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとした啓発冊子の配布開始		見直し効果額 (前年度)	0 千円			
今回の評価	A	○ B	○ C	○	評価省略対象事業・前年度実施なし		
評価の理由	<p>の事業目標であった認定企業数 8 6 0 社を上回っており、の参加率は目標を若干下回るものの、成果、規模、実施手法や満足度などのいずれの項目においても適切に実施しているため。</p>						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<p>改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止</p> <p>今後も複数の市内企業団体等との連携を模索しながら制度の普及啓発に努める。事業目標を達成するため適切なテーマを設定し企画のうえ積極的に市民や企業に参加を呼び掛けていく。意識啓発動画の更なる活用のため新たに y o u t u b e 広告を利用して動画を生かした普及啓発を行う。</p>					
	予算	○ 拡充	現状維持	○ 縮小	○ その他	事業継続のため、現状の予算規模を継続する。	見直し効果額